

環境レポート



平成27年度 高地トレーニングエリア整備事業(県単)
ウッドチップ舗装工事

平成28年4月1日

株式会社 長瀬土建

平成28年度 環境目標

- ①地球温暖化抑制と生態系に配慮する為の取り組みを行う。
- ②環境活動、省エネを推進し、年間の取り組みを4回以上行う。

平成28年度 環境部門別目標

- 総務部 ①環境意識向上の為の情報を、3ヶ月に1度、社員に提供する。
 ②環境ボランティア及び生態系保護活動へ年間3回以上参加する。
 ③エコ商品等を年間10品目以上使用すると共に、書類の印刷枚数を15万枚以下に節約し資源の有効利用・廃棄物の削減を推進する。
- 工事部 ①工事で使用する重機類は、低騒音及び排ガス対策型を使用する。
 ②社用車の相乗り、アイドリング時間の短縮などの省エネ活動を行う。
 ③環境ボランティア及び生態系保護活動へ年間3回以上参加する。

本社事務所

| 目的 | 目標 | | |
|----------------|-------------------------------------|------|---------------------------------|
| 廃棄物の削減 | 用紙の裏面使用・資源ゴミの分別収集 3R活動の推進 | 実施状況 | *維持管理 ○又は△ コピー用紙は年間15万枚を超えない |
| 環境に配慮した製品の使用推進 | グリーン購入品。エコ商品等の使用。 環境に配慮した建設資材の購入 | 実施状況 | *維持管理 ○又は△ |
| 環境意識向上 | 環境活動の推進 (ボランティア活動の実施) | 実施回数 | 年間4回の実施 会社で企画する活動に参加 |
| マニフェスト制度 | 適正処理施設と契約 マニフェスト管理の徹底 | 実施回数 | *維持管理 ○又は△ |

各現場作業所

| 目的 | 目標 | | |
|------------|---------------------------------------|--------------|---------------------------------|
| 廃棄物の削減 | 用紙の裏面使用・資源ゴミの分別収集 3R活動の推進 | 実施状況 | *維持管理 ○又は△ コピー用紙は年間15万枚を超えない |
| リサイクル品の利用 | 再生建設資材の使用 | 再生建設資材の品目数 | 年間2品目 |
| 廃棄物のリサイクル化 | 廃棄物を再生処理施設へ搬出 | 廃棄物の再資源化の品目数 | 年間2品目 |
| 廃棄物の削減 | 余堀のない施工計画・残土の適正処理 間伐材の利用、資源ゴミの分別収集 | 実施状況 | *維持管理 ○又は△ |
| 騒音振動の抑制 | 低騒音、低振動型機械の使用 | 予定台数の使用率 | 95%以上 |
| 大気汚染の抑制 | 排ガス対策機械の使用 (モーターグレーダーを除く) | 予定台数の使用率 | 95%以上 |
| 使用燃料の削減 | 社用車の相乗り、アイドリング時間短縮、点検整備の充実など省エネ活動 | 実施状況 | *維持管理 ○又は△ |
| 環境意識向上 | 環境活動の推進 (ボランティア活動の実施) | 実施回数 | 年間4回の実施 会社で企画する活動に参加 |
| マニフェスト制度 | 適正処理施設と契約 マニフェスト管理の徹底 | 実施回数 | *維持管理 ○又は△ |

環境への取り組み

清掃活動

平成27年4月24日

国道41号線宮峠JAひだ選果場付近の清掃活動を行いました。



平成27年5月29日

国有林ゴミゼロ運動に参加しました。（名古屋林業土木協会久々野高山支部）



平成27年8月1日
胡桃島国有林草刈り活動に参加

(名古屋林業土木協会久々野高山支部)



平成27年8月1日
県道久々野朝日線 久須母橋植栽の草刈り・清掃活動(ぎふロードプレーヤー活動)



平成27年9月19日
モンデウススキー場付近道路整備、駐車場ゴミ拾い



平成27年9月21日
宮大イチイ周辺整備作業、遊歩道補修 名古屋林業土木協会久々野高山支部



平成27年12月28日
牛牧国有林路面補修、側溝修繕



■平成27年度 環境目標、環境部門別目標の達成状況

▼平成27年度 環境目標

- ① 地球温暖化抑制と生態系に配慮する為の取り組みを行う。
- ② 環境活動、省エネを推進し、年間の取り組みを4回以上行う。

部門別環境目標に展開し実施する。

▼平成27年度 環境部門別目標

総務部

- ① 環境意識向上の為の情報を、3ヶ月に1度、社員に提供する。
- ② 環境ボランティア及び生態系保護活動へ年間3回以上参加する。
- ③ 用紙の裏面使用を推奨し、安価なグリーン商品を10品目以上使用する。

工事部

- ① 工事で使用する重機類は、排ガス対策型を原則とする。
- ② 現場にゴミ分別用の施設を設け、ゴミの分別を実施する。
- ③ 環境ボランティア及び生態系保護活動へ年間3回以上参加する。

○目標達成状況

総務部

- ① 事務用品の購入の際、環境に配慮した商品の購入を心がけた。
地域のリサイクル回収を利用し、資源ゴミを排出。
- ② 環境美化ボランティア活動の継続と森林保護活動への積極的協力。

平成27年度 環境美化ボランティア活動・森林保護活動 実施一覧

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 4月24日 | 国道41号宮崎植栽帯清掃活動 |
| 5月29日 | 国有林ゴミゼロ運動 (名古屋林業土木協会久々野高山支部) |
| 8月1日 | 胡桃島国有林草刈り活動(名古屋林業土木協会久々野高山支部) |
| 8月1日 | 久須母橋付近の草刈り清掃 |
| 8月28日 | 国道41号道路清掃への参加(飛騨三協) |
| 9月8日 | モンデウススキー場付近草刈り清掃(たかやま林業・建設業協同組合) |
| 9月19日 | モンデウススキー場付近道路整備、駐車場ゴミ拾い |
| 9月21日 | 宮大イチイ周辺整備作業、遊歩道補修(名古屋林業土木協会久々野高山支部) |
| 10月6日 | 宮川クリーンキャンペーン(高山建設業協会) |
| 12月28日 | 牛牧国有林路面補修、側溝修繕 |

環境美化ボランティア活動の継続については例年に引き続き国道41号道路清掃や、県道の草刈りなどを行った。森林保護活動については、国有林内の清掃活動、草刈り作業、登山道の林道補修を行うなどの活動をしました。また関連団体で企画される道路清掃活動などにも積極的に参加協力をしました。

工事部

- ① 従業員や地域社会における環境意識の促進と、廃棄物の削減による地球温暖化の抑制に努力する。
- ② 環境意識の推進については、会社での毎月2回の朝礼、現場での安全朝礼等と工事部の計画に基づく教育訓練を通じて行った。また緊急事態での環境影響に対応する訓練などを行った。特に建設現場においては気象の影響が非常に大きいため、土砂・油の流出措置、火災への対応を行った。また環境意識の向上のために、毎月の社内パトロールで環境影響を及ぼす項目のリスクのチェックを行い、廃棄物の削減などにも不十分な点があれば指摘し現場責任者に改善を促した。

○事業活動による廃棄物の削減

紙の再生利用、資源ゴミの分別収集について

コピー用紙の使用状況

平成26年度

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年計 |
|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 11,500 | 13,000 | 13,000 | 15,500 | 8,500 | 8,000 | 7,500 | 8,750 | 4,050 | 7,000 | 8,000 | 8,700 | 113,500 |

平成27年度

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年計 |
|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|---------|
| 10,000 | 16,500 | 8,500 | 13,000 | 13,000 | 5,000 | 19,000 | 6,750 | 6,000 | 11,500 | 10,000 | 10,000 | 129,250 |

*裏面コピー紙利用や、コピーミスの減少の呼びかけをしましたが、使用枚数の減少にはつながらなかった。

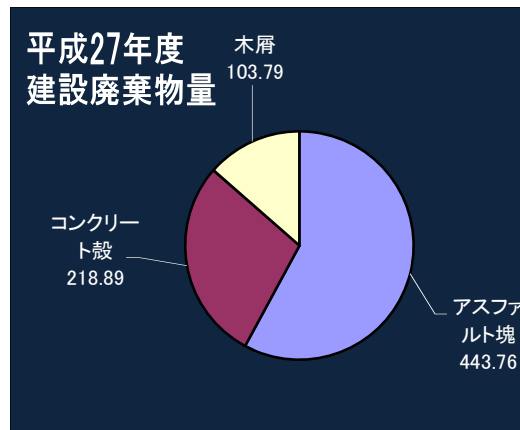
着工時の提出書類や多種多様な技術資料の作成等も使用枚数の増加の原因であるが、使用枚数が一枚でも減少するよう気を配り作業等していくよう周知したい。

建設業廃棄物について

| | 木くず | A S 魂 | コンクリ殻 | 廃プラ | その他 | 合計 |
|--------|--------|--------|----------|--------|--------|----------|
| 平成26年度 | 228.69 | 770.6 | 341.85 | 1.08 | 0 | 1342.22 |
| 平成27年度 | 103.79 | 443.76 | 218.89 | 2.74 | 5.8 | 774.98 |
| 前年度比 | 124.90 | 326.84 | ▽ 122.96 | ▲ 1.66 | ▲ 5.80 | ▽ 567.24 |

建設業廃棄物については、工事件数・工事内容により廃棄物の構成が異なるので、比較は困難であるのですが、27年度の建設廃棄物合計は、774.98トンとなりました。前年度比としては567.24トンの減少となりました

再生処理施設への排出の際、マニフェストを発行し、適切な処理を行いました。



○再生建設資材の使用

目標値 年間2品目以上

再生利用は、下記の通りとなりました。

| 建設副産物種別 | 再生砕石 | A S 合材 | 再生木質 ボート | 生コン |
|---------|---------|--------|-------------|--------|
| 使用数量 | 2126.68 | 366.30 | 3.1 | 5167.4 |